

「エコシティたかつ」推進方針理念 / 基本目標 / 戦略（たたき台）

（現状）

地球温暖化が進む中、温室効果ガスの削減が世界的課題となっている。川崎市では、二酸化炭素放出が1990年対比で4.6%増加し、民生部門（家庭系）は37.1%の増となっている。温暖化による水災害への適応も大課題であり、局地的な洪水や土砂災害の増大も心配である。世界的な危機となっている生物多様性の減少に関連して、区域における農地、緑地、特に開発による斜面緑地の減少などが危ぶまれている。他方、区域では、環境関連の市民活動も盛んに行われ、環境まちづくりの機運が高まっており、行政、企業、市民の協働による諸課題へのさらなる対応が期待されている。

理念

地球環境危機の時代に対応した自然の賑わいとともにある持続可能な循環型都市構造の創出

基本目標

低炭素社会の実現
防災都市づくりの推進
自然共生型都市再生の推進

「エコシティたかつ」推進戦略

環境的・社会的・経済的持続可能性の実現
地域特性に根ざした事業推進
行政・市民・企業・学校の協働による推進
区の全事務事業の環境視点からの見直しと総合的展開
リーディングプランによる効果的事业推進